

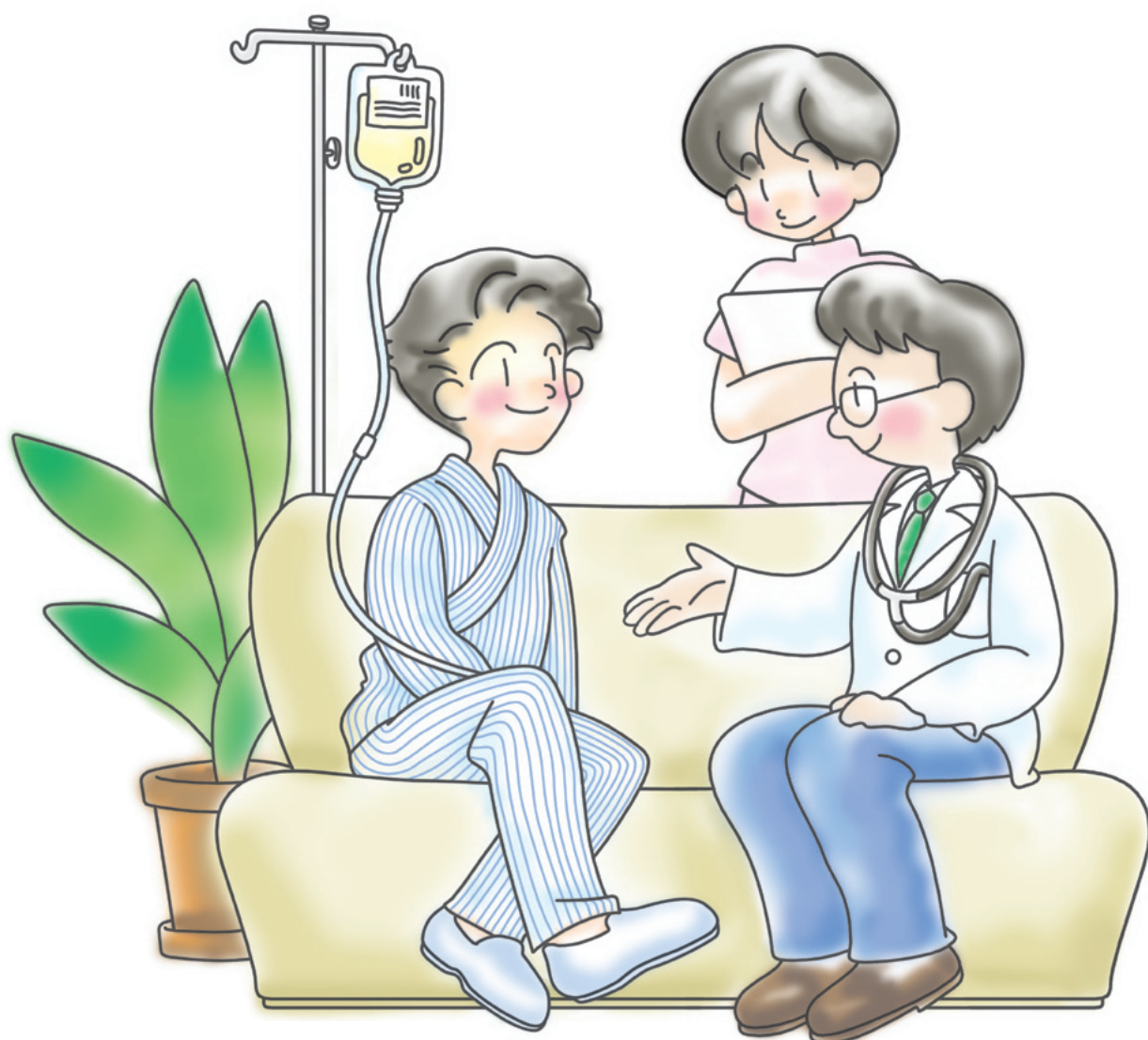
入院のご案内

入院生活を安心して過ごしていただくために

■ 入院日： 月 日 ■ 来院時間：10時まで

曜日 ■ 来院場所：1階10番

中央受付



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院リバーサイド

もくじ

● 入院の手続きについて	1
● 入院時にご用意していただくもの	1
● 付き添いについて	2
● お食事について	2
● 外出・外泊について	2
● お薬について	3
● 面会・お見舞いについて	3
● 入院費用のお支払いについて	3
● 医療福祉相談について	4
● 患者サポートについて	4
● 入院生活について	5
● 私物管理について	6
● 医療安全について	7
● 災害時について	8
● 退院の手続きについて	8
● 歯科について	9
● カルテ開示（診療情報の提供）について	10
● 個人情報保護について	10
● セカンドオピニオンについて	10
● 地域包括ケア病棟のご利用について	11

入院の手続きについて

- 入院される方は、担当医師の指示により来院いただき、1階10番中央受付で入院手続きをお取りください。この時に必要な書類は次のとおりです。

- 1) 入院申込書および保証書（極度額とは、連帯保証人が負担しなければならない額の上限です）
- 2) マイナンバーとお手持ちの保険証すべて。限度額・標準自己負担額認定証や生活保護に関するもの、介護保険など（お持ちの方）
- 3) 診察券
- 4) 過去3カ月に他院にて入院歴のある方は退院証明書（お持ちでなければ口頭で受付の際にお申し出ください）

＊入院予約時、お部屋のご希望をお伺いしていますが、ご希望通りのお部屋が準備できない場合もありますので、ご了承ください。

入院時にご用意していただくもの

- ☐入院ファイル 提出書類等（上記1）～4）参照
- ☐肌着 ☐マスク ☐お薬手帳
- ☐内服薬（現在内服中の薬をすべてご持参ください）
- ☐靴（転倒の危険性がありますので、靴底が滑りにくく、かかとのあるものをご準備ください）
- ☐※箸 コップ スプーン
- ☐※タオル 洗面セット 入浴セット（シャンプー、ボディソープ等）
- ☐※ティッシュペーパー
- ★アメニティーを導入しております。（詳細は別紙をご参照ください）
利用されない方は※についてもご準備ください。



【注意事項】

- ・飲料水は持参または購入していただくようになります。
- ・貴重品、特に多額の現金はできるだけお持ちにならないようお願いいたします。
- ・電気製品の持ち込みは原則として禁止しています。
- ・破損の危険性のある瀬戸物類の持参はお控えください。



付き添いについて

- 患者さんへの付き添いは原則として認められておりませんので、ご了承ください。
※ 患者さんの病状により付き添いを希望される方は、医師または看護師にご相談ください。

お食事について

- 病状に応じたお食事をご用意させていただきます。治療上、食物の持ち込みや自炊はご遠慮願います。
- 患者さんの栄養状態を評価し、お一人おひとりに適した栄養計画を作成し、お食事を提供しています。
- 食事について説明してほしい、嫌いで食べられないものがある、アレルギーで食べられない、固くて食べられないなど、食事に関することで何かあればご相談ください。看護師にお申し出いただければ、栄養士が病室にうかがいます。
- 治療食を食べておられる患者さんで、食事療法について説明を希望される方（家族の方を含め）は、看護師にお申し出ください。栄養士による栄養相談をおこないます。
- 食費の一部負担金について

食事を **1食につき490円** 請求させていただきますようになります。外出や退院などで食事が不要の場合は、お早めにお申し出ください。

時刻を過ぎてのお申し出は、料金をいただくことになります。また、**食事の用意ができた後、患者さんのご都合でキャンセルされた場合も患者さんの負担となります。**

- 衛生面や熱傷の危険性を考慮し、配茶サービスを行っておりません。白湯が必要な方はスタッフステーションへお申し出ください。

食事中止の締め切り時間

朝食の中止	▶ 前日 17:00 まで
昼食の中止	▶ 10:00 まで
夕食の中止	▶ 16:00 まで



外出・外泊について

- 入院中の外出や外泊は、医師の許可が必要です。所定の手続き（患者外出・外泊許可願）がありますので、あらかじめ看護師に申し出てください。病衣での外出・外泊はご遠慮ください。

お薬について

- 薬は、患者さんの症状にあわせて、看護師、薬剤師が説明いたします。
- 当院からお出しする以外の薬の服用は、看護師にお申し出ください。
- 当院入院中に他院での診察、投薬などの必要がある場合は、主治医や看護師へお申し出ください（代理でご家族が受診されるのも同様です）。



入院中に以下の条件に該当する場合は、必ず病棟スタッフにご相談、お申し出ください。
必要に応じて、当院主治医の指示でお薬の処方等を行います。

＊当院へご入院中に他院の受診予約をお持ちの方

＊他院でもらわれているお薬が必要になった場合

※ご不明な点がございましたら、病棟スタッフ（事務、看護師）にご相談ください。

面会・お見舞いについて

- 面会時間は1回3人まで、原則15分以内、マスク着用飲食不可でお願いします。
- マスク着用困難なお子さまの同伴や、患者さんのお体の負担になるようなことはご遠慮ください。他の患者さんのご迷惑にならないようお静かにお願いします。
- 風邪をひいている方の面会、発熱などの体調不良がある方の面会、ペット類を連れての面会・お見舞いはご遠慮ください。
- 病棟以外での面会をご遠慮ください。
- 個室以外の場合は談話室をご利用ください。
- 面会にお越しの方は、必ず病棟スタッフにお申し出ください。
- 面会は、療養上の安静と防犯上の問題などにより、下記の時間帯にしています。

【面会時間】 13:00～19:00

入院費用のお支払いについて

- 入院の費用は毎月末日で締め切り、翌月11日以降に請求書を病室へお持ちします。お受け取りになられたら5日以内に1階会計窓口にてお支払いください。
- 退院の場合は、その都度請求書を発行いたします。
- 入院費用はクレジット支払いができます。
（JCB、VISA、AMEX、マスターカードがご利用いただけます）
- 入院費用のお支払いについてご不明な点等ございましたら、1階会計窓口へお尋ねください。
- 院内にはATMはございません。あらかじめご了承ください。



医療福祉相談について

- 医療費の問題、福祉制度、施設、退院後の在宅介護の問題などについては、医療福祉相談室医療ソーシャルワーカーにご相談ください(1-16番)。相談内容の秘密は厳守します。

※相談料はかかりません。

※面談やお電話の対応が重なる事がありますので、予約をとっていただく事をお願い申し上げます。

患者サポートについて

- 疾病に関する医学的な質問ならびに生活上及び入院上の不安など、さまざまな相談をお伺いする窓口として患者サポート室を設置しています。

ご希望の方は患者サポート室(1-16番)までお申し出ください。

※相談料はかかりません。

【支援体制】

1. 患者サポート室と各部門が連携して支援しています。
2. 各部門に患者サポート担当者を配置しています。
3. カンファレンスを週1回開催し、取り組みの評価を行っています。
4. 相談への対応・報告体制をマニュアル化し、職員に遵守させています。
5. 支援に関する実績を記録しています。
6. 定期的に支援体制の見直しを行っています。

患者サポート室

曜 日	受付時間
月～金	9:00～17:00

※土・日・祝日はお休みとなります。

【担当】

地域医療センター(1-16番)

患者サポート室

TEL 086-448-1111(内線 115)

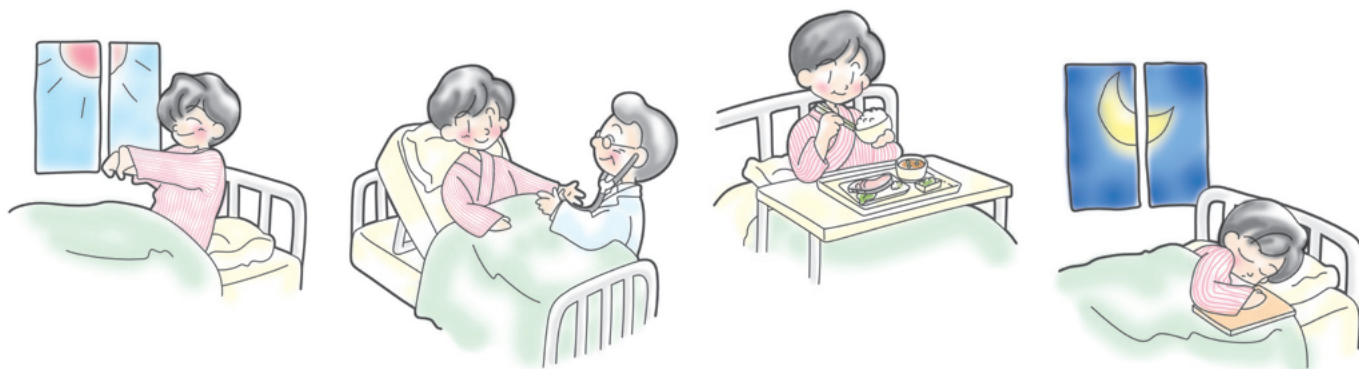


入院生活について

- 入院中は一日も早いご回復のため、医師、看護師の指示をお守りください。
- 病院内では暴言暴力など他の患者さんに迷惑をかけないようにお願いします。
- お食事の配膳時間は朝食7時30分、昼食12時、夕食18時です。各部屋に配膳、下膳いたします。
- 消灯時間は21時30分頃です。消灯後は他の患者さんの迷惑にならないように、静かにお願いします。
- 入浴は治療上、主治医の許可が必要です。入浴される方は看護師の指示に従ってください。入浴時間、場所などについては別途看護師がご説明いたします。
- テレビ・冷蔵庫は病院に設置している物をご利用ください。その他電気器具も含め使用方は看護師がご説明いたします（有料）。
個室以外は、ラジオ・テレビを視聴される場合はイヤホンをお使いください。
- 洗濯機・乾燥機は8時～20時まで使用できます（有料）。
- 院内は、禁酒・禁煙です。
煙草は、ご本人さまはもちろん周りの方の体に悪影響を及ぼします。また、火災の原因ともなります。当院では入院および家族面会等ご来院の皆さんの健康を守るため「敷地内禁煙」となっています。
- 携帯電話の使用は、院内の指定区域において使用可能です（各階エレベーターホール、談話室、個室病室など）。指定区域以外では電源をお切りください。また公衆電話は1階と4階にあります。
- 3階、4階、5階病棟でフリーWi-Fiがご使用いただけます（接続や設定方法など利用に関するサポートはできませんのでご了承ください）。
- 売店は1階にあります。

営業時間（月）～（金） 8：30～18：00

（土）（日）（祝日） 8：30～13：30



私物管理について

●紛失・破損等を防ぐため、ご協力をお願いします。

1) 義歯の取り扱い

- ・義歯は見える形で保管してください。ごみと間違えるのでティッシュや紙等には包まないようにしてください。
- ・枕元やお膳の上に義歯を置かないようにしてください。
- ・名前を書いた義歯ケースを使用してください。なければ購入をお願いします。
- ・患者さんご自身が義歯を取り扱い、万一紛失・破損等が生じた場合には、当院では責任を負いかねます。



2) 補聴器の取り扱い

- ・補聴器の使用があれば、入院時に看護師にお知らせください。検査やシャワーの時など補聴器を外す必要がある場面があり、そのままにしておくとは破損の原因になります。
- ・布団や台の上にそのまま置いておくと、動いた時に落ちて破損・紛失することがあります。
- ・専用の入れ物を用意して、入れ物に名前を書いてください。
- ・患者さんご自身が補聴器を取り扱い、万一紛失・破損等が生じた場合には、当院では責任を負いかねます。



3) 携帯電話やスマートフォンの取り扱い

- ・携帯電話やスマートフォンは、紛失や盗難で個人情報漏れる恐れがあります。十分注意し、患者さんご自身で管理していただくか、管理できない場合は持ち込まないようお願いします。

4) 現金・カード・貴金属類の取り扱い

- ・現金・カード・貴金属類は床頭台ユニットの鍵付きスペースを使用し、患者さんご自身で管理してください。(病室を空けられる時にはご注意ください)
- ・多額の現金は持ち込まないようにしてください。
- ・万一紛失や盗難などが生じた場合には、当院では責任を負いかねます。



医療安全について

- 当院では、入院中、患者さんに安心して治療、看護を受けていただけるよう日々職員一同努めています。また、患者さんに安全な医療を受けていただくために、患者さんご自身にも治療に参加していただきたいと考えています。

クリフ ハコ
倉敷 花子 S45(1970). 01. 20 女 00000136



1) リストバンドについて

- ・ 患者さんの誤認を防止するために、当院では、入院時、患者さんの名前を書いたバンド（リストバンド）を装着させていただきます。

リストバンドの氏名、生年月日を読んで間違いがないことを確認してください。患者さん自身での確認が無理な場合は、ご家族の方がご確認ください。

- ・ 点滴および注射、採血、配薬、手術、検査、処置などの際、リストバンドのお名前を見せてください。
- ・ 点滴および注射、採血、配薬の場合、点滴ボトル、採血容器、薬袋のお名前を患者さんご自身も職員と一緒に声をだして読んで確認してください。

2) お名前の確認依頼について

- ・ 診察や処置、検査の場合、患者さんにお誕生日とお名前（フルネーム姓名）を名乗っていただきます。

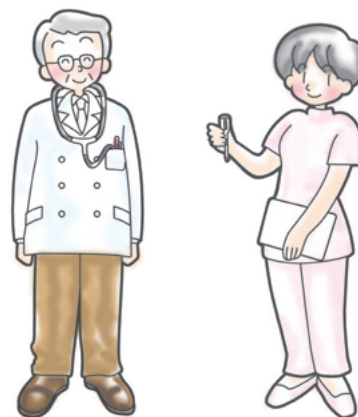
＊入院中、患者さん間違いを防止するため何度もお誕生日とお名前をおたずねすることがありますが、ご了承ください。

3) 患者さんへの処置・検査・注射などの説明について

- ・ 処置・検査・手術・注射などをおこなう時に、必ず説明をおこなっていますが、説明が不十分な場合やわからないときは、遠慮なく医師、看護師にお聞きください。

4) 転倒やベッドからの転落予防について

- ・ ベッドの上に立ち上がったり、ベッドから身を乗り出して、床頭台のものをとったりしますと、身体のバランスを崩して転落することがありますのでおやめください。
- ・ 転落予防のため、ベッドの両側にベッド柵を取り付けます。
- ・ 履物は、滑りにくい履きなれたものをご使用ください。



災害時について

- 火災、地震などの非常時には医師、看護師、職員の指示に従ってください。
- 非常口、非常階段などは入院時に看護師より説明させていただきます。
(各病棟廊下・病室に表示しております)
- 非常時にはエレベーターは使用しないでください。



退院の手続きについて

- 退院は主治医によって決められます（できるだけ午前中の退院にご協力ください）。
- 退院手続きは看護師により説明させていただきます。手続き終了後1階会計窓口にて入院診療費のお支払いを済ませてご退院ください。
- 休日・夜間退院の方は、後日のお支払いをお願いしています（翌開院日の午後以降お支払い可能です）。

その他

- 個室をご希望の場合は看護師にお申し出ください。
- 病状により、病棟、病室を移動していただく場合があります。ご了承ください。
- 入院環境にご満足いただけるように各階に「提案箱」を設置しています。患者さんの貴重なご意見をお聞かせください。
- 当院では職員に対してのお心づけや謝礼（食べ物やお花など含まれます）などはお受けしていません。お気遣いのないようお願いいたします。
- ご不明な点などがございましたら、ご遠慮なく看護師、職員にお申し出ください。
- 個人情報の保護に関して入院時に看護師が確認させていただきます。

【お名前の表示】

- ・お部屋は入り口にお名前を表記しない構造になっています。
- ・お見舞いの方に案内をしてほしくない場合、「お見舞い客お断り（案内しない）依頼書」を病棟看護師へ提出してください。
- 病院の規則が守れない場合、他の患者さんにご迷惑をおかけする場合は主治医の判断で入院継続を中止させていただく事があります。
- 病院住所で、患者さん個人宛てに郵便物などを送られる場合は、事前にお申し出くださいますようお願いいたします。

歯科について

全身とお口の健康は深いかかわりがあります

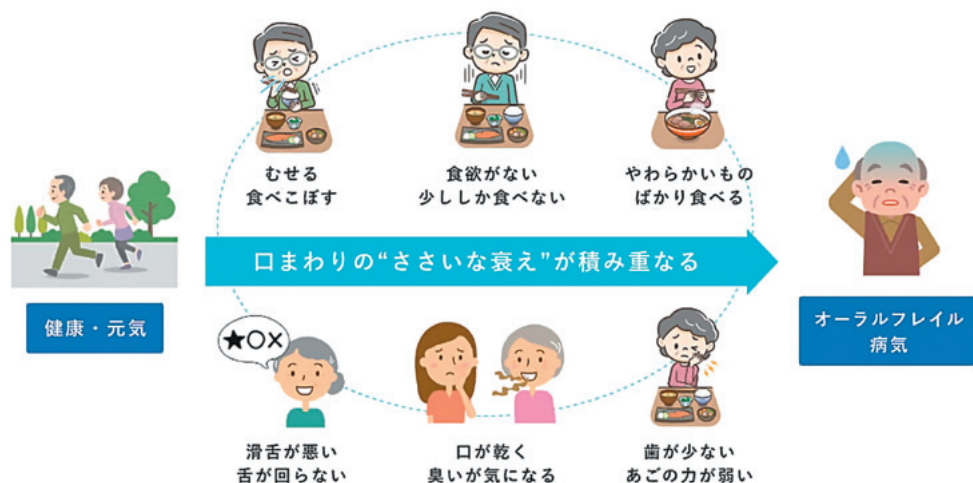
当院では入院時に歯科衛生士が病室を訪問しお口の評価を行っています。

歯科では口腔内の状態に応じて口腔ケアや口腔機能評価、治療で入院目的を支援しています。



1. 自分のお口の機能を知っていますか？

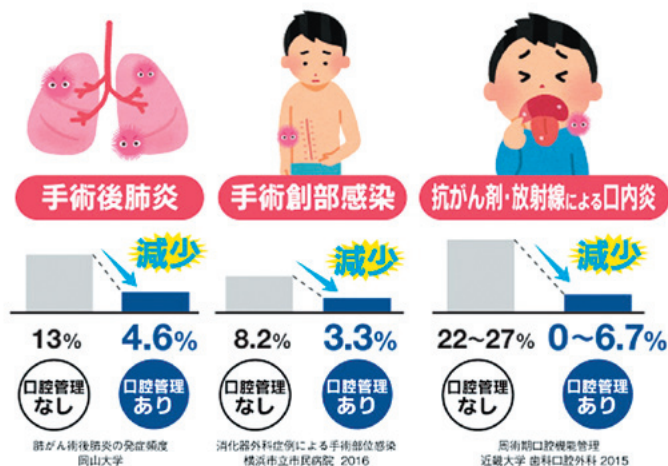
入院中歯科外来受診の方には、口腔機能評価を行います。



2. 手術・化学療法を受ける方へ

全身麻酔による手術では、お口から気管チューブを挿入します。

適切な歯磨きと口腔ケアで口腔内細菌を減らすことにより、手術後の肺炎リスクを下げることができます。また保湿と口腔ケアによってがん化学療法時の口内炎の発生頻度をおさえることができます。



カルテ開示（診療情報の提供）について

- 情報の提供を行うことで情報の共有化をはかり、医療の質の向上に努めるとともに、患者さんとの信頼関係を強化する目的でおこなっております。カルテは患者さんのプライバシーに関する情報が記録されていますので、原則として本人以外の方には開示しておりません。

情報提供を希望の方は、総合案内（１－１０番）までお申し出ください。

情報の提供の際には、手数料を請求させていただきます。

個人情報保護について

- 当院では、個人情報保護方針を設定し、個人情報収集の目的と利用の範囲を明確にし、個人情報保護に努めております。個人情報保護方針については院内に掲示しておりますので、ご確認ください。

セカンドオピニオンについて

- セカンドオピニオンは、現在かかっている医師（担当医）の診断や治療方針について、他院の医師の意見を聞き、治療法の選択の判断材料にする仕組みです。

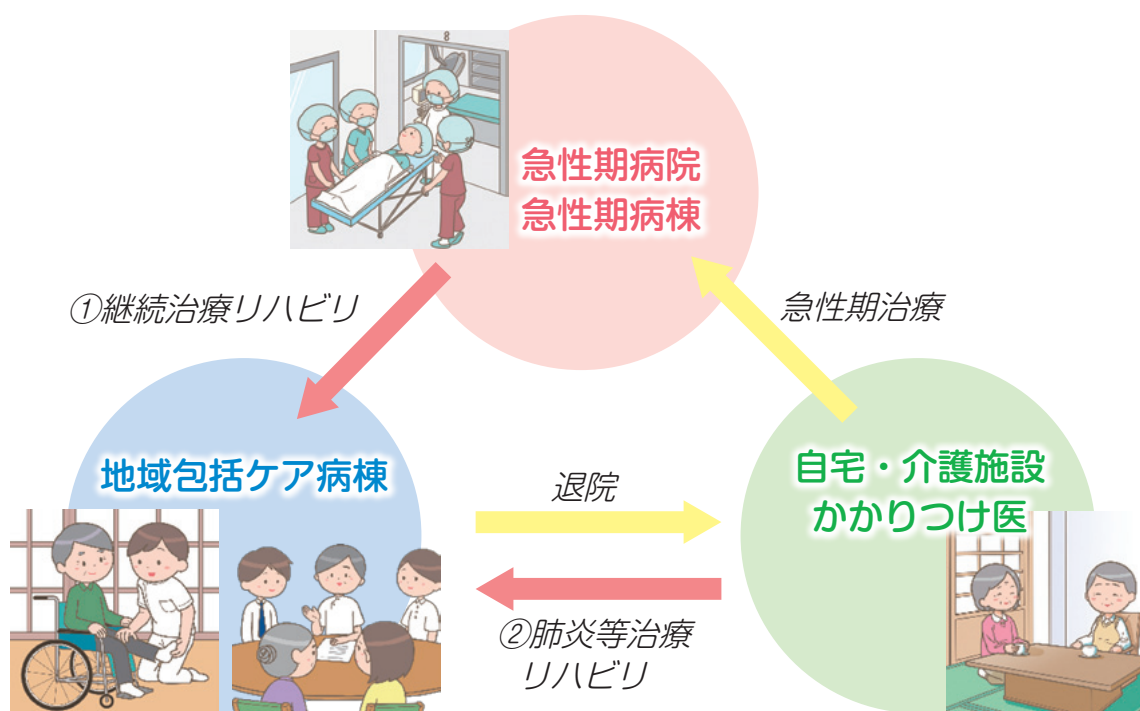
セカンドオピニオンを受けることで、担当医の意見を別の角度からも検討することができ、もし同じ診断や治療方針が説明された場合でも、病気に対する理解が深まることにつながります。また、別の治療法が提案された場合には選択の幅が広がることで、より納得して治療に臨むことができます。

＊セカンドオピニオンを受ける医療機関には、基本的に患者さんご自身で連絡をとって頂くようになります。また、セカンドオピニオンを受ける際は各医療機関で定めた保険診療外の費用がかかりますので、事前にご確認ください。

＊セカンドオピニオンのご希望を担当医に申し出ることや、受けること自体を迷われる方がいらっしゃるかもしれませんが、今後の治療等に関して、不利益を被ることはありませんので、ぜひご活用ください。

地域包括ケア病棟のご利用について

- 地域包括ケア病棟とは次の方に対し、在宅復帰に向けて医療管理・診療・看護・リハビリテーションを行うことを目的とした病棟です。
 - ・ 急性期病院（急性期病棟）にて症状が改善したものの、すぐに在宅や施設へ退院することに不安がある方
 - ・ レスパイトケアやご自宅または施設で急に具合が悪くなった方



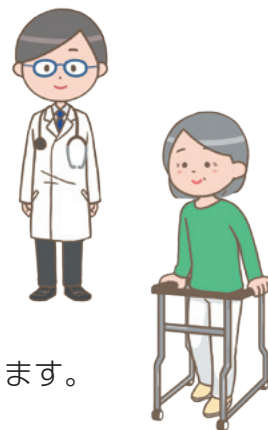
- 様々な疾患をお持ちの方が入院できる病棟です
急性期病棟で集中的な訓練を行った後、もう少しリハビリテーションや療養を継続したいとお考えの方や在宅・施設での療養生活に伴う廃用症候群の心配のある方、これまで疾患による制限のため、回復期リハビリテーション病棟での治療ができなかった方も地域包括ケア病棟の対象となります。
- 在宅に特化したリハビリテーションをする病棟です
「在宅復帰」に特化したマンツーマン個別訓練を中心にリハビリテーションを実施しております。必要に応じ退院前在宅訪問を行い、在宅生活動作練習や住環境整備のアドバイスを実施しています。摂食・嚥下障害に対しても「在宅復帰」へ向けた摂食・嚥下練習を実施しています。
- ご家族の不安解消をサポートする病棟です
ご自宅での療養や介護に不安がある場合は、作業療法士をはじめとするセラピストや看護師、相談員（社会福祉士）など様々なスタッフが技術指導や環境整備などの助言を行い問題解決にあたります。

●対象となる患者さん（例）

自宅へ帰られる時に困らないよう、話し合いの場を持ち、支援させていただきます。

ご自宅や介護施設への復帰予定の方が対象ですが、おもに次のような方が対象となります。

- ・急性期治療が終了し、病状が安定・軽快して在宅復帰へ向けた間の入院
- ・機能回復や能力向上を目的とし、在宅復帰に向けもう少しリハビリテーションが必要な時
- ・肺炎や脱水・低栄養が予測される嚥下障害あり在宅復帰へ向けた摂食嚥下練習が必要な時
- ・身体の状態変化に伴う自宅環境が整うまでの間の入院
- ・慣れない医療行為やトイレ介助方法など介護の練習がしたい時
- ・短期入院手術をうける場合
- ・在宅で療養中に介護者の休養のための一時入院



●入院にあたってのお願い（入院期間・入院費等）

- ・医師の指示により、地域包括ケア病棟をご利用いただけます。
- ・入院期間は規定上40日（最大60日が上限）となっております。
- ・入院費は地域包括ケア入院医療管理料とし、1日あたりの定額となります。

1日あたり 3割負担：約8,500円 1割負担：約2,900円

（ただし、手術料や一部薬剤については定額に含まれません）

- ・退院先については必要に応じて、社会福祉士がお手伝いさせていただきます。

●地域包括ケア病棟でのリハビリテーションについて

- ・在宅復帰をするにあたり、患者さんそれぞれの身体機能や認知機能にあわせて、1対1のリハビリテーションや家庭内の家事動作練習をおこなっています。
- ・リハビリテーションで獲得した能力を、普段の生活で発揮できるように、病棟スタッフと協力し、身の回りの動作で実施できることは極力患者さんにおこなっていただく生活リハビリを実施しています。
- ・医師の指示により、リハビリテーションが必要とされた患者さんに対して、条件によっては、ひとり最大3時間までおこなうことができます。

また、リハビリテーションの休みが2日以上続かないように土曜日・日曜日・長期連休もスケジュール調整しておこなっています。

***患者さんの体力や体調などを考慮し、休日を設けることが効果的な場合もあります。**

患者さんご自身の体力や体調などを考慮することもあります。

また、薬の過剰投与が良くないように、不必要に長時間のリハビリテーションも効果がないことが実証されています。病態や回復に合わせて最適な時間のリハビリテーションと自主リハビリテーションと組み合わせて実施しています。



理念と基本方針

理 念

「人と人とのふれあい」を大切にし、地域の人々の生命と健康を守ります。

基本方針

1. 患者さんが安心して納得できる最良の医療を提供します。
2. 全人的な包括的医療を提供します。
3. 医療知識、技術の獲得のために日々自己研鑽に努めます。

患者さんの権利と患者さんへのお願い（1）

「患者さんの権利」

当院では、患者さんの相互理解により医療が行われるよう、患者さんの権利を尊重します。

1. ひとりの人間として、その人格・価値観は尊重されます。
2. 医療を平等に受けることができます。
3. 説明と十分な理解による同意のもとに、適切な医療を選ぶことができます。
4. 当院で行われたご自身の診療に関する情報の提供を受けることができます。
5. 医療の過程で得られた個人情報は厳守され、患者さんの承諾なしには開示いたしません。

患者さんの権利と患者さんへのお願い（2）

「患者さんへのお願い」

私たちが良質で安全かつ効率的な医療を提供するために次のことをお願いします。

1. ご自身の健康に関する正しい情報の提供
2. ご自身の医療への積極的な参加
3. ご自身の治療に必要な診療上のルールの遵守
4. 他の患者さんの診療に支障をきたさないためのご協力

患者さんが、私たちと力を合せ、治療に専念され、少しでも早く回復されますよう心よりお祈り申し上げます。



外観



5階病棟からの眺望



病院への交通案内

広域地図



周辺地図



詳細図



※水玉ブリッジラインをご利用の方は最初の信号をリターン右折して側道に入ってください。

交通機関をご利用される方へ

JR「新倉敷駅」より、タクシーで約15分。JR「倉敷駅」より、タクシーで約25分。

自家用車をご利用される方へ

山陽自動車道「玉島IC」より、約20分。

高梁川より西側の方

1. 霞橋を目標にこられる場合

霞橋を渡り水島方面へ左折、JFE 鶴の浦団地西側（高梁川堤防の下）の国道430号線を約2km南下して下さい。

2. 水玉ブリッジラインを目標にこられる場合

水玉ブリッジライン水島大橋を出てすぐの信号を右折して側道に入り、右折して水玉ブリッジラインの下をくぐり抜けると右手正面です。

高梁川より東側の方

1. 霞橋を目標にこられる場合

429号線（旧2号）を橋の手前で水島方面へ左折、JFE 鶴の浦団地西側（高梁川堤防の下）の国道430号線を南下してください。

2. 水玉ブリッジラインを目標にこられる場合

水玉ブリッジライン水島大橋の手前で直前の信号で左側側道に入り、右折して水玉ブリッジラインの下をくぐり抜けると右手正面です。



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷中央病院リバーサイド

〒712-8007 倉敷市鶴の浦2-6-11

TEL 086-448-1111

FAX 086-448-1251